

株式会社 関西宇部グループ社長メッセージ

25年6月施行の改正労働安全衛生規則により熱中症対策が義務化され、当社は従業員の安全・健康確保と法令遵守のため直ちに体制整備と手順書作成と具体的対策を実施した結果、25年度は熱中症発症者ゼロを達成した。26年度も製造・運転手社員や協力会社運転手・誘導員（計約50名）に対して、鈴木環境安全部長が個別注意喚起を継続している。作業時は空調服着用や複数名での作業、プラントのミキサ洗浄作業でのクーラー設置など現場対策を行い、特に経費増を伴う誘導員の増員も効果が高いため継続した結果、今期も熱中症発症者ゼロを維持中。これも社員皆様の個人意識と、職場での上司や同僚からの気遣い・指導による会社全員対応の賜物とお礼申し上げる。

堺工場が8月8日に無災害継続6,000日を達成し、これまで関わった多くの方々への感謝を述べるとともに、災害がないことが即ち安全ではないため、今後も「安全と健康は全てに優先する」を基本に、新しい無災害記録の目標に向けて安全作業の継続をお願いする。堺工場無災害6,000日に対して、皆さん一人一人に心から感謝し、敬意を表したい。今後も、安全を積み重ね、信頼を積み重ね、未来へつなげましょう。

中期経営戦略の第2回目、今回は武井港工場長によるコメントを紹介する。

＜会社や当該部署で具体的に何が出来たらNo.1か？＞

港工場はシェアが大きく、出荷量も多いため、出荷を止めることなく、安定的に出荷することが一番だと思います。

＜その中で自分は何をなすべきか？＞

技術・製造トラブルを未然に防ぐため点検確認とチェック体制強化。

トラブル時には早期対応・処置による出荷停止期間の短縮。

＜港工場の紹介＞

24年12月に新プラントが完成。MUCC大阪港SSに隣接しセメントの供給は直送。JISから大臣認定の超高強度コンクリートまで幅広く対応。大阪広域協No.1のシェアと出荷数量を誇りながら、「安全は全てに優先する」を基本にゼロ災を継続している。

2026.8.19

代表取締役 太田正彦